

## 大人気フルーツの 季節がやってきました!

### 地産地消

富士市自慢の  
旬のフルーツを  
ご紹介します!



©よい食P

### ミカン

(青島・寿太郎)

収穫時期 ▶ 11月下旬～12月

出荷時期 ▶ 1月(青島)～2月頃(寿太郎)

温州ミカン(青島・寿太郎)は市内の約100人の生産者によって栽培・出荷されています。

収穫されたミカンは、各生産者が貯蔵庫を適切な温度や湿度に保ち、徹底した貯蔵管理を行うことで熟成され、甘さがギュッと詰まったおいしいミカンになります。富士市の高品質なミカンは市場でも好評を得ています。

## 富士市の「旬」を楽しもう!



富士市産イチゴ・ミカン・キウイフルーツは、JAのファーマーズマーケットや市内スーパーなどで販売しています。ご購入の際には箱やパッケージにも注目いただき、「富士市の旬」をぜひお楽しみください!

### イチゴ

収穫・出荷時期 ▶ 11月～5月頃

富士地区苺部会では主に「紅ほっぺ」「きらび香」「章姫」などの品種を栽培。中でも「きらび香」の生産が多く、昨年度のJA出荷量(富士地区)の60%ほどを占めています。クリスマスシーズンにはケーキ用としても需要が高いです。

JA合併後は伊豆の国地区など他地区の生産者とも協力体制を築き、さらなる品質向上に努めています。

### キウイフルーツ

(ヘイワード)

収穫時期 ▶ 11月～12月

出荷時期 ▶ 1月～2月頃

「東京ゴールド」や「レインボーレッド」などさまざまな品種が栽培されている富士市特産のキウイフルーツ。12月にはいよいよ主力品種の「ヘイワード」が登場します!鮮やかな緑色の果肉で、甘みと酸味のバランスが良く、贈答品としても大人気です。キウイフルーツを優しく包み込むように持って、ほどよい弾力があれば食べ頃(完熟)のサインです。

## 子育て支援教室の ご案内 無料

「リトミック」や「親子体操あそび」を楽しみながら親子でリフレッシュ&仲間づくりをしてみませんか?産直市のちょこっとお土産付きでリピーターの多い教室です。初めての方もお気軽にどうぞ!

### 《開催日程》

日時	開催場所	内容
令和7年12月17日(水) 10:00～11:00ごろ	田子浦支店 (富士市中丸758-1)	リトミック
令和8年1月21日(水) 10:00～11:00ごろ	富士支店 (富士市水戸島187-1)	親子体操 あそび

**対象者** 未就園児(3歳程度まで)と保護者

**募集定員** 10組程度

※応募者多数の場合は初めての方を優先させていただきます。  
※開催は都合により中止となる場合がございます。

**お問い合わせ  
お申し込み** 富士地区管理課 ☎0545-51-2121

## 無料 年金相談会の ご案内 予約制



社会保険労務士が年金に関する疑問・質問にお答えします。

### 《開催日程》

日時	開催場所	予約・お問い合わせ
令和8年1月22日(木) 13:00～19:00	須津支店 (富士市中里1143-2)	0545-34-0810 (須津支店)
令和8年2月15日(日) 9:30～15:30	ホワイトパレス (富士市青島200-1)	お近くの支店 または 富士地区金融課 (0545-51-2123)

当JAで公的年金をお受け取りの皆さまへ

### 年金感謝ウィークのお知らせ

**期間** ▶ 令和7年 12月15日(月)～19日(金)

上記期間中、当JA支店にお越しいただいた皆さまに  
**感謝の品をプレゼント!**  
公的年金が振り込まれている通帳をお持ちの上、  
ぜひご来店ください。

## JAふじ伊豆 公式You Tubeの ご案内



▲今年4月に配信したふじ伊豆さんぽ動画版

公式ユーチューブでは本誌ふじ伊豆さんぽの動画版や、旬の農畜産物のレシピ、ショートニュースなどさまざまな動画を配信中です。ぜひご覧ください♪



チャンネル登録も  
よろしくお願いします!

JAふじ伊豆 富士地区

農家でなくても  
大歓迎!!

## 女性部員募集

富士市内にお住まいで、食や農業、暮らしなどに  
関心のある女性ならどなたでもご加入いただけます。

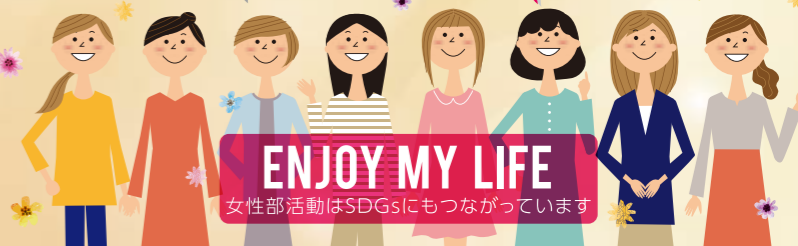


**年会費500円で  
さまざまな活動に参加できます**  
※活動内容により別途自己負担金が必要となる場合があります。

旅行 文化祭 講習会 映画上映会 など

その他趣味の  
サークル活動も盛ん  
です。料理・絵手紙  
書道・手芸・フラダンス  
体操・みそ造りなど  
こども食堂も運営  
しています

農協祭や  
組織の集いなど  
JAの行事にも  
参加できます



**ENJOY MY LIFE**  
女性部活動はSDGsにもつながっています

〈お問い合わせ先〉

富士地区組織課／女性部事務局  
☎0545-67-0080

または、お近くの支店にお問い合わせください。



▲富士警察署長(右)に交通安全を  
宣言する長橋地区本部長(中央)

## 交通事故撲滅へ交通安全遵守を宣言

富士地区本部は9月17日、同地区の職員とその家族849人が署名した交通安全宣言書を富士警察署に提出しました。

長橋房良地区本部長は交通事故撲滅に向けた具体的な実践項目を読み上げ、交通安全を宣言。宣言書を受け取った竹田一則署長は「毎年年末にかけて交通事故が多発している。その中で宣言書の提出はとても心強い」と話しました。



今後実験を重ね、生産者のニーズなどを柔軟に取り入れながら持続可能な農業を目指します。



▲散布テストで結果を確認する  
生産者とJA職員

## 作業負担&コスト軽減を目指した 実験開始

富士地区営農販売課は本年度、農業の作業負担や肥料コストの削減に向けた実験に取り組んでいます。

9月29日には岩松地区の生産者のほ場で農用ドローンの散布テストを行いました。水にぬれると色が変わる紙をほ場に置き、農業の代わりに水を散布し、かかり具合を確認しました。

また、下水等処理施設や肥料会社と協力し、富士市の汚泥資源を利用した肥料の実用化に向けての実験も開始しました。肥料成分であるリンを多く含む汚泥を原料とした肥料を、実際にほ場で使用し、その効果を確認します。汚泥肥料の効果が認められ、実用化すれば肥料コストの削減が期待できます。



▲高田さん(左奥)から収穫方法を学ぶ児童



▲協力して稲を束ねる児童



▲青年部員らが正しい鎌の持ち方を指導

手刈りの後には高田さんがコンバインを使った収穫を実演。児童たちは手作業と機械作業の速さや正確さの違いに驚きの声をあげていました。

普段食べているお米について学ぶ貴重な体験となりました。

生産者の時田修治さんは「今の子どもたちは農業に触れる機会が少ない。体験を楽しみながら農業や食べ物大切さを知ってほしい」と話しました。

「将来絶対に米農家になる！」と力強く話す児童の姿も見られ、現場は温かい空気に包まれました。JAは今後も子どもたちの食農教育活動に取り組んでいきます。

吉原小学校5年生は生産者の高田博雄さんから「鎌を株に当てて手前に引く」など刈り方を教わり、1列になって丁寧に稲を刈り取りました。初めて鎌を握った児童も多く、最初は緊張した様子でしたが、自分の手で収穫する喜びに笑顔を見せました。

富士中央小学校5年生がペアになって稲刈りを行いました。一人が稲を刈り、もう一人が数束をひとで束ねて稲架に掛けるという昔ながらの米作り方法を学びました。約10日後には、児童たちは天日干しで乾燥させた稲の脱穀も体験。コンバインや100年以上前に使われていた足踏み式脱穀機を使って稲穂から籾を落とす作業に挑戦しました。

伝法小学校5年生は青年部員やJA職員から鎌の持ち方や刈り方を教わり、真剣な表情で稲刈りを行いました。稲刈り後にはコンバインの見学や米作りに関する質疑応答も行われ、「コンバインの横についている袋は何?」「刻まれたわらははどうなるの?」など多くの質問が飛び交いました。

吉原小学校  
島田支店管内の生産者・  
島田支店・伝法営農経済センター

富士中央小学校  
同校稲作体験実行委員会・富士支店・  
堅堀支店・岩松営農経済センター

伝法小学校  
青年部伝法支部・伝法支店・  
伝法営農経済センター

## JAと地域の食農教育活動 稲刈り編



▲公演後には丘さんとの握手会も

## 他金融機関で年金をお受け取りの皆さまへ 年金のお受け取り口座をJAに変更しませんか?

JAで年金をお受け取りになると自動的に年金友の会の会員となります。

- 【特典1】 イベントへご優待
- 【特典2】 お誕生日プレゼント
- 【特典3】 年金感謝ウィークに感謝の品をプレゼント
- 【特典4】 お得な定期貯金&定期積金



変更のお手続きはとってもカンタン!お近くの支店へお気軽にご相談ください。



▲新入職員による花束と記念品贈呈



▲今年は特に甘かった  
自慢のイチジク

9月23日、24日に富士市ロゼシアターで年金友の会メインイベント「丘みどりコンサート2025」を開催しました。丘さんの心に響く歌声と圧巻のステージに大きな拍手が送られました。

23日にはJAの新入職員2人が丘さんに花束と富士市特産のイチジクを贈呈。丘さんは「イチジクは大好きなのでとてもうれしい!」と笑顔で喜んでいました。イベント終了後には来てよかった「丘さんの歌声に感動して泣いてしまった」と喜ぶ参加者の姿が見られました。

## 丘みどりさん 歌で彩る感動のステージ



## 女性部・青年部とJA職員が 意見交換会



▲女性部の活性化に向けて真剣に話し合う

女性部と青年部は9月、長橋房良地区本部長ら富士地区本部職員と意見交換会を行いました。

9月8日には女性部富士地区本部役員3人と職員5人が参加。事前に各支部から寄せられた意見・要望を基に、女性部活動の活性化や充実化に向けての提案、JAの営農事業についてなど多くの意見交換が行われました。

今回届いた意見に対する回答は、支部長や事務局を通じて各支部の部員へ報告しました。

【女性部各部から寄せられた意見の一部を紹介】………

●部長を引き受けてくれる人がいない。文化祭や農協祭など大きなイベントでの負担が大きいのでは?

●手芸や絵手紙などのグループ活動は楽しいので続けていきたいが……

●JAで活発な女性部活動を行っていた方がありがたいです。

●部長の仕事は大変かと思いますが、任期を終えた時には皆さま口をそろえて「楽しかった!」と言っていたみたいです。部や地区の垣根を越えた出会いもあり、大変さと同時に楽しさや喜びもあります。文化祭等の開催方法などについては引き続き検討を重たいと思います。

●家庭菜園を行っている。支店に営農部門がないが、営農情報を知りたい。

●JAで現在、営農経済センターでは出向く体制に力を入れています。ささいなことでもお電話いただければ対応させていただきます。ぜひお気軽にお問い合わせください。

●支部の活動について広報誌で紹介してほしい。

●JAで部員以外の方にも女性部活動を知ってもらえるよう、広報誌なども活用していきたいと思っています。

